

福島第二原子力発電所 2号機圧力抑制室の内部側面における孔食の確認について

2016年11月21日

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所

本日、2号機圧力抑制室内の点検作業を実施していた協力企業作業員が、同室の内部側面（鋼鉄製）に1か所、孔食（直径約9.5mm、深さ約3.7mm）があることを確認いたしました（添付資料参照）。

今回、確認された孔食箇所については、圧力抑制室の当該部位で必要とされる板厚（36.1mm）を満足しない可能性があることから、当社として、「安全上重要な機器等の機能*¹に支障を及ぼすおそれのある故障」と判断いたしました。

なお、現在、原子炉内の燃料はすべて取り出されており、圧力抑制室の機能*²は要求されていません。

今後、原因について調査するとともに、補修いたします。

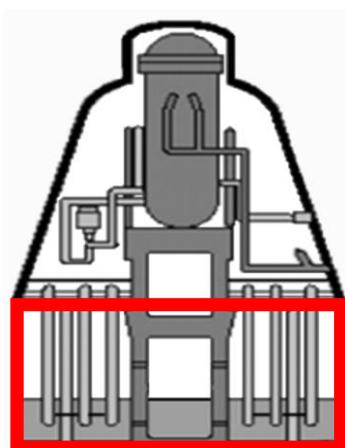
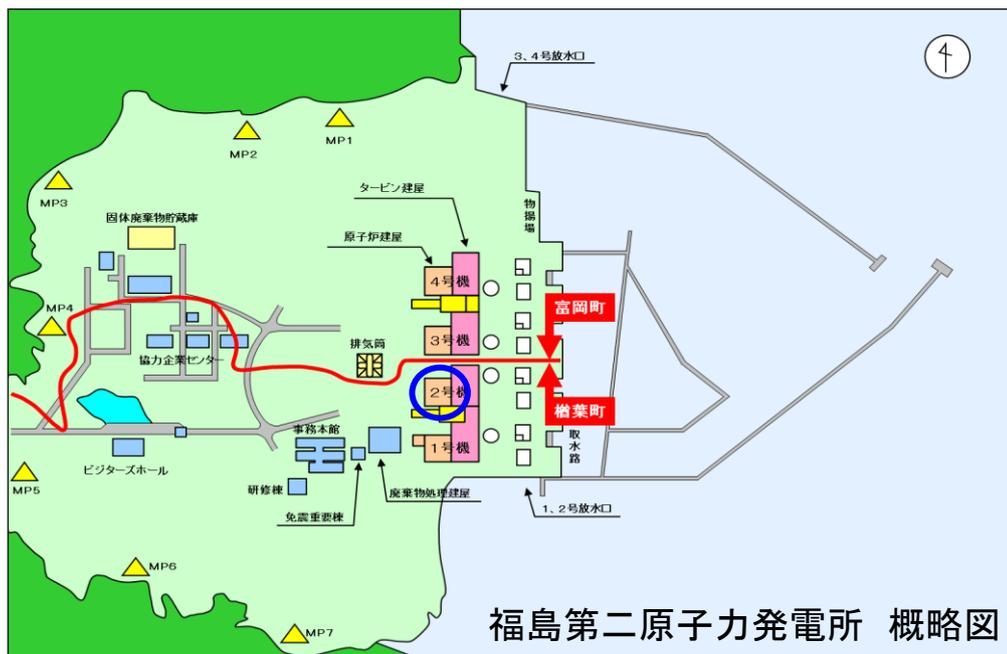
これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

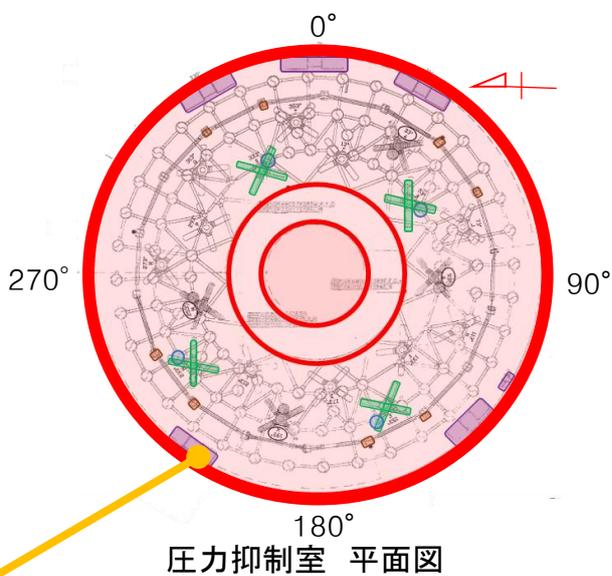
*1：経済産業省告示第327号で定める機器が必要とする機能。（例：放射性物質の閉じ込め機能等）

*2：原子炉施設保安規定では、原子炉内に燃料が装荷されている場合において、非常用炉心冷却系の水源としての機能が要求されている。

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所 広報部 0240-25-4111（代表）



圧力抑制室



約220°付近の内部側面に孔食を確認。

福島第二原子力発電所 2号機圧力抑制室 現場概略図